

■南方熊楠 独学で“動く百科事典”“知の巨人”。イギリスや昭和天皇に評価され、自然保護運動先駆者でもあった。

みなかたくまぐす

大政奉還・・・1867＝ 和歌山市で、雑貨屋(のち金物商を始める)の娘スミと婿養子南方弥兵衛の次男に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 1歳：

初の日刊新聞1870＝ 3歳：弟常楠が誕生。子供特有の慢性胃腸病に罹る。

学問のすすめ1872＝ 5歳：妹藤枝が誕生。

明治6年政変 1873＝ 6歳：雄小學校に入学すると、「訓蒙図彙」「節用集」を手始めに、漢学の素読などを受けながら、

三つの反乱・1876＝ 9歳：弟楠次郎が誕生。併設の鐘秀学校(速成中学科)に進み、「和漢三才図絵」「本草綱目」「大和本草」「諸国名所図会」など、次々古書を筆写を開始。

琉球処分・・・1879＝12歳：創立された和歌山中学に入学。「博物学の恩師鳥山啓と出会う。

明治14年政変1881＝14歳：「和漢三才図会」の筆写終わる。

岩倉具視没・1883＝16歳：卒業し、上京して共立学校に入学するが、山野に入り浸る。「英米の菌類標本が6000点あるを聞き、日本の菌類7000点を採集しようと志す。石器や土器、動植物の標本採集に熱中し、

秩父事件・・・1884＝17歳：東京大学予備門に入っても、授業に出ず、上野図書館に入り浸る一方、「江島紀行」「日光山紀行」執筆。

内閣発足・・・1885＝18歳：

帝国大学始・1886＝19歳：病気になる、退学して帰郷。父兄から許可得て、「遊学のため渡米するが、

国民之友始・1887＝20歳：妹が死去。サンフランシスコの商科学校を経て、ミンガン州立ランシング農学校に入学するが、

初の対等条約1888＝21歳：退学し、アナバーに赴き、在米自由民権派の日本人と交流、

帝国憲法発布1889＝22歳：{大日本}{珍事評論}主筆をしながら、「独学で図書館通いと野外採集に専念、実家からの仕送りも途絶え、

大津事件・・・1891＝23歳：フロリダ州_ジャクソンビルからキーウエストを経て、キューバに渡り、曲馬団の事務員となって中南米、西インド諸島を巡遊する間も、各種の標本や地衣類、菌類の採集に努め、イギリスや中国の学者とも交流。

大本教・・・1892＝25歳：_アメリカに戻った後、イギリスに渡り、ロンドン正金銀行に同郷中井芳楠訪ね、父の訃報を聞く。

郡司千島探検1893＝26歳：*大英博物館のフランクとリードを紹介して貰い、同館で東洋関係資料整理を手伝い、勉学の便も得、科学雑誌”Nature”にロンドン学会の天文学懸賞論文に第1位となった処女論文「極東の星座」が掲載され、

日清戦争始・1894＝27歳：以後、投稿続ける。”Nature”に「拇印考」が掲載され、

日清戦争終・1895＝28歳：大英博物館の図書閲覧を正式に許可され、東洋図書館部長ダグラスと激論、かえって尊敬されて親交、

白馬会・・・1896＝29歳：母の訃報を聞く。「ロンドン大学事務総長ディキンスとも文通、

八幡製鉄始・・・1897＝30歳：当時亡命中の孫文とも知合う。無神論の演説聞いて警官に咎められる一方、博物館で殴打事件起こし、

子規句歌革新1898＝31歳：一度は免じられるも、度々乱暴な言動をしたため、ついに大英博物館を追放され、仕事頼まれた南ケンジントン美術館で勉強しながら、初めて{Notes & Queries}に投稿して掲載され、以後、30余年続ける。

ピノコ国産化・1900＝33歳：_ {Notes & Queries}に「神跡考」「さまよえるユダヤ人」発表後、やむなく帰国。和歌山県一帯の隠花植物や菌類の採集とその分類整理を始め、最晩年に至るまで没頭。

田中正造直訴1901＝34歳：和歌山に来訪した孫文と歓談。

日比谷公園・1903＝36歳：熊楠の助力を得たディキンスの「日本古文篇」刊行。「英文」「日本人太古食人説」「燕石考」完成。

日露戦争始・1904＝37歳：田辺中屋敷町に定着し、

日露戦争終・1905＝38歳：「ディキンスと共訳の「方丈記」が「王立アジア協会雑誌」に掲載される。

満鉄発足・・・1906＝39歳：閨鶏神社官司田村宗造の娘松江と結婚。

韓国反日暴動1907＝40歳：長男が誕生。「大英博物館に送付した粘菌標本について菌学会長リスターから鑑定開始の知らせ、

伊藤博文暗殺1909＝42歳：*アメリカ農務省から招聘状が来る一方、{牟婁新報}に意見発表し、以後神社合祀反対運動を展開。

韓国併合・・・1910＝43歳：「神社合祀反対のため講習会に乱入し拘留され、{牟婁新報}掲載の「人魚の話」が風俗紊乱罪で罰金。

大逆事件判決1911＝44歳：長女が誕生。「{東京人類学会雑誌}に「山神オコゼ魚を好むということ」発表し、柳田国男と文通始まり、柳田が南方の神社合祀反対書簡を識者に配布。「大蔵経」抄写始める。

明治天皇没・1912＝45歳：{太陽}に「猫一疋の力に憑って大富となりし人の話」発表。

大正政変・・・1913＝46歳：{不二}発表の「月下美人」が風俗紊乱罪で罰金。柳田国男が突然来訪。

第一次大戦始1914＝47歳：_ {太陽}に十二支の動物に関する民俗伝説を発表し始め、以後10年続ける。

21ヶ条要求・1915＝48歳：再度アメリカへ招聘の話があるも固辞。

ロシア革命・1917＝50歳：前年近傍の広い敷地を購入して転居したが、そこで_新種の粘菌を発見して、リスターの遺児に送り、

本格政党内閣1918＝51歳：{牟婁新報}に湊村合併反対意見を発表、

大暴落・・・1920＝53歳：真言宗高野派管長土宜法竜に招かれ、高野山に赴いて面談し、菌類を採集。

原敬首相暗殺1921＝54歳：_英国菌学会長が”ミナカテルラ”属を新設の上命名。{南方植物研究所}設立運動が始まる。

関東大震災・1923＝56歳：_日本産粘菌141の目録をイギリスに送る。

治安維持法・1925＝58歳：長男が発病し、以後自宅療養となる。

円本時代始・1926＝59歳：「南方閑話」刊行。続く「南方随筆」刊行後、柳田国男から抗議の書簡あり、以後関係途絶。「続南方随筆」刊行後、小峯四郎が摂政官(昭和天皇)に献上した粘菌標本の品種選定者となり、

金融恐慌・・・1927＝60歳：_イタリアでの大僧正生誕80年記念出版「菌譜」に、唯一の日本人の名誉賛助者となる。{植物学雑誌}に「現今本邦に産すと知れた粘菌種の目録」発表。

世界恐慌・・・1929＝62歳：*天皇南紀行幸に際し、田辺湾内の艦上で進講するという名誉に浴する。標本多数を献上。

海軍軍縮条約1930＝63歳：神島が和歌山県天然記念物に指定される。

満州事変・・・1931＝64歳：岩田準一からの来信で、男色についての文通が始まり、以後、没するまで続く。

五一五事件・1932＝65歳：小峯四郎とともに、天皇に粘菌標本を献上。

帝人疑獄事件1934＝67歳：{ドルメン}に「地突き唄の文句」連載始。神島の植物調査し所在図と国の天然記念物指定申請書を作成し、

二二六事件・1936＝69歳：文部省から、神島が史跡名勝天然記念物に指定される。{牟婁新報}に「新庄村合併について」連載。

日中戦争始・1937＝70歳：

健保+総動員 1938＝71歳：*自宅の竹林で採集中に腰部を負傷、以後健康が勝れず、

第二次大戦始1939＝72歳：

日米開戦・・・1941＝74歳：萎縮腎に黄疸を併発し_没した。

吉川弘文館人物叢書、産経「日本人の足跡2」、八坂書房「南方熊楠アルバム」、「日本史を変えた人物200人」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典。山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、インターネット、